							改正		改正理由		
東京原	農工ス	大学大学院農学府教育規則		東京農工大学大学院農学府教育規則 [平成16年4月制定]							
(授業	[平成16年4月制定] (授業科目等)						(授業科目等)				
第3条 専攻ごとの教育研究分野、授業科目及び単位数等は、別表のとおりとする。					(略	)					
する。  2 学生は、専攻ごとに定められた必修科目及び選択科目の単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。ただし、国際環境農学専攻の学生については、32単位以上修得しなければならない。					2 学生は、専攻ごとに定められた必修科目 <u>、選択必修科目</u> 及び選択科目の単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。ただし、国際環境農学専攻の学生については、32単位以上修得しなければならない。						
3 授業科目の履修方法については、別に定める。					3 (略) 附 則(平成29年4月1日農規則第1号) 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。 2 平成29年3月31日現在在学している者の授業科目の名称及び単位数並びに必修又は選択の別、教育課程につい						
				<u>ては、</u>	改正	後の	規定にかかわらず、なお従前の例による。				
生物生	産科学	学専攻 T	<del>, , ,</del>	生物生	上産科 5	学専攻					
	科目区分	授業科目	単位数	教育 研究 分野	科目区分		授業科目	単位数			
		生物生産科学特論	©1 0.5 0.5 0.5		1	$\Diamond$	生物生産科学特論	1			
		生物生産科学フロンティア講義I			Ī		生物生産科学フロンティア講義I	0.5			
		生物生産科学フロンティア講義Ⅱ			Ī		生物生産科学フロンティア講義Ⅱ	0.5			
		生物生産科学フロンティア講義Ⅲ			Ī		生物生産科学フロンティア講義Ⅲ	0.5			
		生物生産科学フロンティア講義IV	0.5		Ī		生物生産科学フロンティア講義IV	0.5			
		生物生産科学フロンティア講義V	0.5		Ī		生物生産科学フロンティア講義V	0.5			
		生物生産科学フロンティア講義VI	0.5				生物生産科学フロンティア講義VI	0.5			
		生物生産科学フロンティア講義Ⅶ	0.5		ļ		生物生産科学フロンティア講義Ⅶ	0.5			
	. 1	生物生産科学フロンティア講義Ⅷ	0.5		<b>身</b>		生物生産科学フロンティア講義VII	0.5			
共通		生物生産科学フロンティア講義IX	0.5	1 4	文 共		生物生産科学フロンティア講義IX	0.5			
科	斗	生物生産科学フロンティア講義X	0.5	ì	<b></b>		生物生産科学フロンティア講義X	0.5			
目	<b>∃</b>	生物生産科学フロンティア講義XI	0.5	木   [	斗 <b>■</b>		生物生産科学フロンティア講義XI	0.5			
		生物生産科学フロンティア講義XII	0.5		·		生物生産科学フロンティア講義XII	0.5			
		生物生産科学特別講義	1		ļ		生物生産科学特別講義	1			
		生物生産科学ビジネス戦略特論 I	0.5		ļ		生物生産科学ビジネス戦略特論I	0.5			
		生物生産科学ビジネス戦略特論Ⅱ	0.5		ļ		生物生産科学ビジネス戦略特論Ⅱ	0.5			
		生物生産科学英語プレゼンテーション演習 I	©2		ļ	$\Diamond$	生物生産科学英語プレゼンテーション演習 I	2			
		生物生産科学英語プレゼンテーション演習Ⅱ	©2		ļ	$\Diamond$	生物生産科学英語プレゼンテーション演習Ⅱ	2			
		生物生産科学インターンシップ I	1		ļ		生物生産科学インターンシップ I	1			
		<b>生物生産科学インターンシップ II</b>	1		ļ		生物生産科学インターンシップⅡ	1			
		作物生産学特論	2			<u>O</u>	作物生産学特論	2			
	<u> </u>	土壌環境学特論	2		<sub>=</sub>	0	土壤環境学特論	2			
	専門	土壌生化学・物質循環特論	2		専 .	0	土壌生化学・物質循環特論	2			
.,	分	植物栄養・肥料科学特論	2	4-	分	0	植物栄養・肥料科学特論	2			
生	野	11. 10 大食 * 几个行子行酬	2	生産産	野 .	$\bigcap$	+ 塩偽生物利田・バイオ肥料学特論				

産環	件	土壌似生物利用・ハイオ肥料子特論	2
環境	目	家畜生産技術学特論	2
科		昆虫管理学特論	2
学	論	生産環境科学特別演習 I	2
	文研	生産環境科学特別演習Ⅱ	2
	究	生産環境科学特別実験 I	4
	等	生産環境科学特別実験 Ⅱ	4
		作物学特論	2
	専門	植物生態生理学特論	2
	分	園芸作物学特論	2
植物	野 科	植物繁殖学特論	2
生	目	植物分子生理学特論	2
産科		植物遺伝育種学特論	2
学	論	植物生産科学特別演習 I	2
	文研	植物生産科学特別演習Ⅱ	2
	究	植物生産科学特別実験 I	4
	等	植物生産科学特別実験 Ⅱ	4
	専	畜産学特論	2
	門	動物組織機構学特論	2
動	分野	蚕糸科学特論	2
物	科	昆虫遺伝・発生学特論	2
生産	目	昆虫生理化学特論	2
科	論	動物生産科学特別演習I	2
学	文研	動物生産科学特別演習Ⅱ	2
	究	動物生産科学特別実験 I	4
	等	動物生産科学特別実験 Ⅱ	4

- (1) <u>共通科目は、生物生産科学特論1単位、生物生産科学英語プレゼンテーション演習I・IIの4</u> 単位を含め6単位以上を修得すること。
- (2) 学生が専修する教育研究分野に属する授業科目のうち、専門分野科目については2単位以上 修得すること。論文研究等については必修とする。
- (3) 他専攻科目及び強化科目は、それぞれ4単位までを第3条第2項に規定する単位数に算入す <u>ることができる。</u>

/生	17	$\overline{}$	上零网工	707年17日 - / 、	1 4 此怀于何明	н	İ	۷
環境	目	<u>O</u>	家畜生産	技術学特論				2
科		<u>O</u>	昆虫管理	学特論				2
学	論	<u></u>	生産環境	科学特別演	習 I			2
	文研	<u></u>	生産環境	科学特別演	習Ⅱ			2
	究	0	生産環境	科学特別実	験 I			4
	等	0	生産環境	科学特別実	験Ⅱ			4
		0	作物学特	論				2
	専門	0	植物生態	生理学特論				2
	分	0	園芸作物	学特論				2
植物	野 科	0	植物繁殖	学特論				2
生	目	0	植物分子	生理学特論				2
産科		0	植物遺伝	育種学特論				2
学	論文	0	植物生産	科学特別演	習 I			2
		文 研	<u></u>	植物生産	科学特別演	習Ⅱ		
	究	<u></u>	植物生産	科学特別実	験 I			4
	等	<u></u>	植物生産	科学特別実	験Ⅱ			4
	専	0	畜産学特	論				2
	門	<u>O</u>	動物組織	機構学特論				2
動	分野	<u>O</u>	蚕糸科学	特論				2
物	科	<u>O</u>	昆虫遺伝	• 発生学特	論			2
生産	目	<u>O</u>	昆虫生理	化学特論				2
科	論	<u></u>	動物生産	科学特別演	習 I			2
学	文研	<u></u>	動物生産	科学特別演	習Ⅱ			2
	究	<u></u>	動物生産	科学特別実	験 I			4
	等	<u></u>	動物生産	科学特別実	験 II			4
				<b>必修科</b> 目	選択必修科目	選択科目	修	了単位 7単位

<u>必修科目</u>	選択必修科目	選択科目	<u>修了単位</u>
<u>17単位</u>	3単位以上	<u>10単位以上</u>	30単位以上

- (1) 所属する教育研究分野◎印の必修科目を12単位修得すること。
- (2) <u>専攻共通科目◇印の必修科目を5単位修得すること。</u>
- (3) 専攻共通科目無印の選択必修科目から1単位以上修得すること。
- (4) 所属する教育研究分野の〇印の選択必修科目から2単位以上修得すること。
- (5) 所属以外の教育研究分野の〇印の科目は、選択科目とする。 (6) 指導教員と相談した上で、強化科目は4単位を上限として、農学府の他専攻、工学府、生物システム応用科学府、他の大学院科目については、併せて4単位を限度として選択科目の単位数に算入することができる。
- (7) 農学府共通科目は選択科目とする。

## 共生持続社会学専攻

教育 研究 分野	科目区分	授業科目	単位数
		共生持続社会学	01
		共生持続社会学特別講義 I	01
		共生持続社会学特別講義Ⅱ	01
		共生持続社会学特別講義Ⅲ	01
		共生持続社会学特別講義IV	01
		共生持続社会学特別講義V	01
4	4-1	比較共生社会論	○2
走 证	重	インターンシップ実習	01
乖	<b>斗</b> 3	共生環境科学特論 I	2
科目	<b></b>	共生環境科学特論Ⅱ	2
		共生環境科学特論Ⅲ	2
		共生環境科学特論IV	2
		共生環境科学特論V	2
		食糧環境科学特論 I	2
		食糧環境科学特論Ⅱ	2
		食糧環境科学特論Ⅲ	2
		環境共生思想	2
		風土共生倫理学	2
		環境生業文化史論	2
		ヒトと動物の共生心理学	2
共		共生教育論	2
生人		農村社会学特論	2
間学	専門	アニマル・ウェルフェア特論	2
子 /	分	環境法特論	2
環 境	野 科	国際関係学特論	2
児 社	目	食育・食農教育論	2
会		環境経済学特論	2
関 係		共生農業特論	2
学		地域農業システム特論	2
/ 食		農業資源経済学特論	2
糧		食料関連産業特論	2
環 境		食農マーケティング論	2
経		共生持続社会学特別研究 I	2
済 学	論	共生持続社会学特別研究 <b>II</b>	2
	文	共生持続社会学特別研究Ⅲ	2
	研究	共生持続社会学特別研究IV	2
	等	共生持続社会学特別演習 I	2
		共生持続社会学特別演習Ⅱ	2

## 備考

- (1) \_ 共通科目の○印の中から3単位以上修得すること。
- (2) 専門分野科目については8単位以上修得すること。論文研究等については必修とする。
- (3) 強化科目は、4単位以内とする。

## 応用生命化学専攻

## 共生持続社会学専攻

教育 研究 分野	科目区分		授業科目	単位数
		$\Diamond$	共生持続社会学	1
		$\Diamond$	共生持続社会学特別講義 I	1
			共生持続社会学特別講義 Ⅱ	1
		$\Diamond$	共生持続社会学特別講義Ⅲ	1
		$\Diamond$	共生持続社会学特別講義IV	1
		$\Diamond$	共生持続社会学特別講義V	1
早		$\Diamond$	比較共生社会論	2
±		$\Diamond$	インターンシップ実習	1
共 通 科		共生環境科学特論 I	2	
↑   F	1		共生環境科学特論 Ⅱ	2
	·		共生環境科学特論Ⅲ	2
			共生環境科学特論IV	2
			共生環境科学特論 V	2
			食糧環境科学特論 I	2
			食糧環境科学特論Ⅱ	2
			食糧環境科学特論Ⅲ	2
		0	環境共生思想	2
		0	風土共生倫理学	2
		0	環境生業文化史論	2
共		0	ヒトと動物の共生心理学	2
生		0	農村社会学特論	2
人間	専門分野	0	アニマル・ウェルフェア特論	2
学		0	環境法特論	2
/ 環		0	国際関係学特論	2
境	科	0	食育・食農教育論	2
社会	目	0	環境経済学特論	2
関		0	共生農業特論	2
係学		0	地域農業システム特論	2
/		0	農業資源経済学特論	2
食 糧		0	食料関連産業特論	2
環		0	食農マーケティング論	2
境 経		0	共生持続社会学特別研究 I	2
済	論	0	共生持続社会学特別研究 Ⅱ	2
学	文	0	共生持続社会学特別研究Ⅲ	2
	研 究	0	共生持続社会学特別研究IV	2
	等	<u></u>	共生持続社会学特別演習 I	2
		0	共生持続社会学特別演習 II	2

備考

必修科目	選択必修科目	選択科目	修了単位
<u>12単位</u>	<u>11単位以上</u>	7単位以上	30単位以上

- (1) <u>◎印の必修科目を12単位修得すること。</u>
- (2) 専攻共通科目◇印の選択必修科目から3単位以上修得すること。
- (3) 専門分野科目〇印の選択必修科目から8単位以上修得すること。
- (4) 11単位を超えた選択必修科目は選択科目に算入される。
- (5) 共通科目の無印は選択科目とする。その他、指導教員と相談した 上で、強化科目は4単位を上限として、農学府の他専攻、工学府、 生物システム応用科学府、他の大学院科目については、併せて7 単位を限度として選択科目の単位数に算入することができる。
- (6) 農学府共通科目は選択科目とする。

応用生命化学専攻

教育 研究 分野	科目区分	授業科目	単位数
	共	応用生命科学特論 I	◎1
	重 科	応用生命科学特論Ⅱ	©1
		応用生命科学特論Ⅲ	©1
	専門	生体分子化学特論 I	©2O
	分	生体分子化学特論Ⅱ	©2O
生体	野科	生体分子化学特論Ⅲ	1
体分	目	生体分子化学特論Ⅳ	1
子 化	論	生体分子化学特別演習 I	2
学	文研	生体分子化学特別演習Ⅱ	2
	究	生体分子化学特别研究 I	4
	等	生体分子化学特別研究Ⅱ	4
	専門	生理生化学特論 I	©2O
	分	生理生化学特論Ⅱ	⊚2○
生	野科	生理生化学特論Ⅲ	1
理生	目	生理生化学特論IV	1
化	論	生理生化学特別演習 I	2
学	文研	生理生化学特別演習 Ⅱ	2
	究	生理生化学特別研究 I	4
	等	生理生化学特別研究Ⅱ	4
	専門	分子生物学特論 I	©2O
	分	分子生物学特論Ⅱ	©2O
分	野科	分子生物学特論Ⅲ	1
子生	目	分子生物学特論IV	1
物	論	分子生物学特別演習 I	2
学	文研	分子生物学特別演習Ⅱ	2
	究	分子生物学特別研究 I	4
	等	分子生物学特別研究Ⅱ	4
環	専門	環境老年学特論 I	©2O
境老	分	環境老年学特論Ⅱ	©2O
年	野 科	環境老年学特論Ⅲ	1
学	目	環境老年学特論IV	1
連	論	環境老年学特別演習I	2
携公	文研	環境老年学特別演習Ⅱ	2
分野	究	環境老年学特別研究 I	4
)	等	環境老年学特別研究Ⅱ	4

### 備考

- (1) <u>共通科目は、すべて必修とする。</u>
- (2) <u>学生が専修する教育研究分野に属する授業科目のうち、専門分野科目については</u>の印の必 修科目を含めて4単位以上修得すること。論文研究等については必修とする。
- (3) 他の教育研究分野の授業科目から〇印の科目4単位以上修得すること。ただし、他専攻科目 は4単位以内とする。
- (4) 強化科目は、4単位以内とする。

教育 研究 分野	科目区分		授業科目	単位数
	写 女	$\Diamond$	応用生命科学特論 I	1
j ú	ψ Đ	$\Diamond$	応用生命科学特論Ⅱ	1
利 E	¥ 3	$\Diamond$	応用生命科学特論Ⅲ	1
	専門	0	生体分子化学特論 I	2
	分	0	生体分子化学特論Ⅱ	2
生 体	野科	☆	生体分子化学特論Ⅲ	1
分	目	☆	生体分子化学特論IV	1
子 化	論	<u></u>	生体分子化学特別演習 I	2
学	文研	0	生体分子化学特別演習Ⅱ	2
,	究	<u></u>	生体分子化学特別研究 I	4
	等	0	生体分子化学特別研究Ⅱ	4
	専	0	生理生化学特論 I	2
	門 分	0	生理生化学特論Ⅱ	2
生	野	☆	生理生化学特論Ⅲ	1
理	科目	☆	生理生化学特論IV	1
生 化	論文研究等	<u></u>	生理生化学特別演習 I	2
学		0	生理生化学特別演習Ⅱ	2
		<u></u>	生理生化学特別研究 I	4
		<u></u>	生理生化学特別研究Ⅱ	4
	専	<u>O</u>	分子生物学特論 I	2
	門 分	0	分子生物学特論Ⅱ	2
分	野	☆	分子生物学特論Ⅲ	1
子	科目	☆	分子生物学特論IV	1
生 物	論	0	分子生物学特別演習 I	2
学	文	<u></u>	分子生物学特別演習Ⅱ	2
	研究	<u></u>	分子生物学特別研究 I	4
	等	<u></u>	分子生物学特別研究Ⅱ	4
環	専	0	環境老年学特論 I	2
境	門 分	0	環境老年学特論Ⅱ	2
老 年	野	☆	環境老年学特論Ⅲ	1
学	科目	☆	環境老年学特論IV	1
連	論	<u></u>	環境老年学特別演習 I	2
携	文	0	環境老年学特別演習Ⅱ	2
分 野	研究	0	環境老年学特別研究 I	4
<u> </u>	等		環境老年学特別研究Ⅱ	4

備考

<u> 必修科目</u>	選択必修科目	選択科目	修了単位
<u>19単位</u>	4単位以上	7単位以上	<u>30単位以上</u>

- (1) <u>所属する教育研究分野の</u>回及び〇印の必修科目を16単位修得すること。
- (2) ◇印の必修科目を3単位修得すること。
- (3) 選択必修科目として、所属以外の教育研究分野〇印の科目から4単位 以上修得すること。なお、4単位を超えた選択必修科目は選択科目に 算入される。
- (4) ☆印の科目は選択科目とする。
- (5) 農学府の他専攻科目は、4単位を限度として選択科目の単位数に算入することが出来る。強化科目、工学府又は生物システム応用科学府、他の大学院科目は修了要件に算入しない。
- (6) 農学府共通科目は選択科目とする。

## 生物制御科学専攻

教育 研究 分野	科目区分	授業科目	単位数	
		生物制御科学特論 I	1	
		生物制御科学特論Ⅱ	1	
	共	生物制御科学特論Ⅲ	1	
	通 科	生物制御科学特論Ⅳ	1	
	目	生物制御科学特論V	1	
		生物制御科学特論VI	1	
		英語プレゼンテーション演習	1	
生物		植物病理学特論	2	
				植物病原学特論
		生物制御化学特論	2	
機能		生理活性天然物化学特論	2	
制	専門	細胞分子生物学特論	2	
御学	分	植物生理学特論	2	
学・	野科	発生生物学特論	2	
物物	目	応用昆虫学特論	2	
適応制		昆虫生理化学特論	2	
		天敵微生物学特論	2	
御学		生物的制御学特論	2	
子		創薬化学特論	2	
		生物制御科学特別実験 I	2	
		生物制御科学特別実験 Ⅱ	2	
	論	生物制御科学特別実験Ⅲ	2	
	文研	生物制御科学特別実験IV	2	
	究	生物制御科学論文演習 I	1	
	等	生物制御科学論文演習Ⅱ	1	
		生物制御科学論文演習Ⅲ	1	
		生物制御科学論文演習Ⅳ	1	

### 備考

- (1) \_\_\_\_ 共通科目の中から4単位以上修得すること。
- (2) 専門分野科目の中から10単位以上修得すること。
- (3) 論文研究等については必修とする。
- (4) 強化科目は、4単位以内とする。

## 生物制御科学専攻

教育 研究 分野	科目区分		授業科目					
		$\triangle$	生物制御科学特論 I	1				
	専	$\Diamond$	生物制御科学特論Ⅱ	1				
	攻	$\Diamond$	生物制御科学特論Ⅲ	1				
	共通	$\Diamond$	生物制御科学特論IV	1				
	科	$\Diamond$	生物制御科学特論V	1				
	目	$\triangle$	生物制御科学特論VI	1				
		$\Diamond$	英語プレゼンテーション演習	1				
	専門分野科	<u>O</u>	植物病理学特論	2				
生		<u>O</u>	植物病原学特論	2				
物		0	生物制御化学特論	2				
機能		0	生理活性天然物化学特論	2				
制			0	細胞分子生物学特論	2			
御学		0	植物生理学特論	2				
•		0	発生生物学特論	2				
生物	目	<u>O</u>	応用昆虫学特論	2				
適		0	昆虫生理化学特論	2				
応制				0	天敵微生物学特論	2		
御		0	生物的制御学特論	2				
学		<u>O</u>	創薬化学特論	2				
		<u></u>	生物制御科学特別実験 I	2				
		<u></u>	生物制御科学特別実験 Ⅱ	2				
	論	<u></u>	生物制御科学特別実験Ⅲ	2				
	文研				文 研	<u></u>	生物制御科学特別実験IV	2
	究	0	生物制御科学論文演習I	1				
	等	0	生物制御科学論文演習Ⅱ	1				
		0	生物制御科学論文演習Ⅲ	1				
		0	生物制御科学論文演習IV	1				

備考	必修科目	選択必修科目	選択科目	修了単位
	12単位	14単位以上	4単位以上	30単位以上

- (1) ◎印の必修科目を12単位修得すること。
- (2) ◇印の選択必修科目から4単位以上修得すること。
- (3) ○印の選択必修科目から10単位以上修得すること。
- (4) 14単位を超えた選択必修科目は選択科目に算入される。
- (5) <u>指導教員と相談した上で強化科目、農学府の他専攻、工学府、生物システム応用科学府、他の大学院科目について、併せて4単位を限度として選択科目の単位数に算入することができる。</u>
- (6) 農学府共通科目は選択科目とする。

### 環境資源物質科学専攻

教育 研究 分野	科目区分	授業科目	単位数
		環境資源物質科学特別講義 I	2
<u></u>	Ė	環境資源物質科学特別講義Ⅱ	2
道 禾		環境資源物質科学特別講義Ⅲ	2
		環境資源物質科学特論	2
		環境資源物質科学コミュニケーション特論	2
	専	環境資源計測学特論	2
	門	生物物理化学特論	2
環	分野	分子ダイナミックス学特論	2
境資		植物材料物性学特論	2
源		住環境材料加工学特論	2
材料		環境資源材料学特別実験 I	4
学		環境資源材料学特別実験 Ⅱ	4
		環境資源材料学研究報告演習I	2
		環境資源材料学研究報告演習 Ⅱ	2
	専	資源複合機能学特論	2
	門	植物繊維化学特論	2
資	分野	再生資源科学特論	2
源機	科	生分解制御学特論	2
能	目	植物資源形成学特論	2
制御	論	資源機能制御学特別実験 I	4
学	文研	資源機能制御学特別実験 II	4
	究	資源機能制御学研究報告演習 I	2
	等	資源機能制御学研究報告演習 Ⅱ	2

## 備考

- (1) 共通科目は、4単位以上を修得すること。
- (2) <u>学生が専修する教育研究分野に属する授業科目のうち、専門分野科目については2単位以上</u>修得すること。論文研究等については必修とする。
- (3) 他の教育分野および他の専攻の授業科目の中から2単位以上修得すること。
- (4) 強化科目は4単位以内とする。また、他の専攻の授業科目も4単位以内とする。

## 環境資源物質科学専攻

教育 研究 分野	科目区分		授業科目	単位数
		$\Diamond$	環境資源物質科学特別講義 I	2
専び	ζ	$\Diamond$	環境資源物質科学特別講義Ⅱ	2
共 通		$\Diamond$	環境資源物質科学特別講義Ⅲ	2
科目		$\Diamond$	環境資源物質科学特論	2
		$\Diamond$	環境資源物質科学コミュニケーション特論	2
	1	0	環境資源計測学特論	2
	専 門	0	生物物理化学特論	2
環	分野	0	分子ダイナミックス学特論	2
境資	科目	0	植物材料物性学特論	2
源   材		0	住環境材料加工学特論	2
料	論	<u></u>	環境資源材料学特別実験 I	4
学	文研	<u></u>	環境資源材料学特別実験 Ⅱ	4
	究等	<u></u>	環境資源材料学研究報告演習I	2
	守	<u></u>	環境資源材料学研究報告演習Ⅱ	2
		<u>O</u>	資源複合機能学特論	2
	専門:	0	植物繊維化学特論	2
資	分野	<u>O</u>	バイオマス構造機能学特論	2
源機	科目	0	生分解制御学特論	2
能制		0	植物資源形成学特論	2
御学	論	<u>©</u>	資源機能制御学特別実験 I	4
子	文研	<u>©</u>	資源機能制御学特別実験 Ⅱ	4
	究等	<u></u>	資源機能制御学研究報告演習 I	2
	守	<u></u>	資源機能制御学研究報告演習Ⅱ	2

備考

必修科目	選択必修科目	選択科目	<u>修了単位</u>
<u>12単位</u>	6単位以上	<u>12単位以上</u>	30単位以上

- (1) 所属する教育研究分野の◎印の必修科目を12単位修得すること。
- (2) ◇印の選択必修科目から4単位以上修得すること。
- (3) 所属する教育研究分野の○印の選択必修科目から2単位以上修得するこ
- (4) 6単位を超えた選択必修科目は選択科目に算入される。
- (5) 所属する教育研究分野以外の教育研究分野の〇印科目又は、農学府の他 専攻科目の中から選択科目として、2単位以上を修得すること。
- (6) 指導教員と相談した上で、強化科目は4単位を上限として、農学府の他 専攻、工学府、生物システム応用科学府、他の大学院科目については、 併せて4単位を限度として選択科目の単位数に算入することができる。
- (7) 農学府共通科目は選択科目とする。

## 物質循環環境科学専攻

教育研究分野	科目区分	授業科目	単位数
4		環境生物学特論	2
道	<u>f</u>	環境化学特論	2
<b>利</b>	¥ =	国際研究プレゼンテーション I	1
	1	国際研究プレゼンテーションⅡ	1
		大気環境学特論	2
		環境微生物学特論	2
	専	環境植物学特論	2
	門	環境汚染生物学特論	2
	分野	海洋環境生物学特論	2
~	科	環境生物学特別講義 I	0.5
環境	目	環境生物学特別講義Ⅱ	0.5
生		環境生物学特別講義Ⅲ	0.5
物学		環境生物学特別講義Ⅳ	0.5
,	論文研究等	環境生物学特別実験 I	4
		環境生物学特別実験 Ⅱ	4
		環境生物学研究報告演習I	1
		環境生物学研究報告演習Ⅱ	1
		環境生物学英語論文講読演習 I	1
		環境生物学英語論文講読演習Ⅱ	1
		生物圏物質循環学特論	2
		有機地球化学特論	2
	専	社会・生物地球化学特論	2
	門	地球環境化学特論	2
	分野	環境毒性学特論	2
	科	環境化学特別講義 I	0.5
環	目	環境化学特別講義Ⅱ	0.5
境化		環境化学特別講義Ⅲ	0.5
学		環境化学特別講義Ⅳ	0.5
		環境化学特別実験 I	4
	論	環境化学特別実験 Ⅱ	4
	文研	環境化学研究報告演習 I	1
	究	環境化学研究報告演習Ⅱ	1
	等	環境化学英語論文講読演習I	1
		環境化学英語論文講読演習Ⅱ	1

- (1) <u>共通科目の中から5単位以上修得すること。</u>
- (2) 学生が専修する教育研究分野に属する授業科目のうち、専門分野科目については6単位以上修得すること。論 文研究等については必修とする。
- (3) 他の教育研究分野の授業科目及び他の専攻の授業科目の中から3単位以上修得すること。
- (4) 強化科目は、4単位以内とする。

## 物質循環環境科学専攻

教育 研究 分野	科目区分		単位数	
車		$\triangle$	環境生物学特論	2
井	Ė	$\Diamond$	環境化学特論	2
超和		$\Diamond$	国際研究プレゼンテーション I	1
E		$\Diamond$	国際研究プレゼンテーションⅡ	1
		<u>O</u>	大気環境学特論	2
		<u>O</u>	環境微生物学特論	2
	専	<u>O</u>	環境植物学特論	2
	門	<u>O</u>	環境汚染生物学特論	2
	分野	<u>O</u>	海洋環境生物学特論	2
~!!!!	科	<u>O</u>	環境生物学特別講義 I	0.5
環境	目	<u>O</u>	環境生物学特別講義Ⅱ	0.5
生		<u>O</u>	環境生物学特別講義Ⅲ	0.5
物学		<u>O</u>	環境生物学特別講義IV	0.5
	論文研究等	<u></u>	環境生物学特別実験 I	4
		<u></u>	環境生物学特別実験 Ⅱ	4
		<u></u>	環境生物学研究報告演習 I	1
		<u></u>	環境生物学研究報告演習Ⅱ	1
		<u></u>	環境生物学英語論文講読演習 I	1
		<u></u>	環境生物学英語論文講読演習Ⅱ	1
		<u>O</u>	生物圏物質循環学特論	2
		<u>O</u>	有機地球化学特論	2
	専	<u>O</u>	社会・生物地球化学特論	2
	門ハ	<u>O</u>	地球環境化学特論	2
	分 野	0	環境毒性学特論	2
	科口	<u>O</u>	環境化学特別講義 I	0.5
環境	目	<u>O</u>	環境化学特別講義Ⅱ	0.5
化		0	環境化学特別講義Ⅲ	0.5
学		<u>O</u>	環境化学特別講義IV	0. 5
		<u></u>	環境化学特別実験 I	4
	論	<u></u>	環境化学特別実験 Ⅱ	4
	文研	<u></u>	環境化学研究報告演習 I	1
	究	<u></u>	環境化学研究報告演習Ⅱ	1
	等	<u></u>	環境化学英語論文講読演習 I	1
		<u></u>	環境化学英語論文講読演習Ⅱ	1

必修科目	選択必修科目	選択科目	修了単位
<u>12単位</u>	<u>11単位以上</u>	7単位以上	30単位以上

- (1) 所属する教育研究分野の◎印の必修科目を12単位修得すること。
- (2) <u>◇印の選択必修科目から5単位以上修得すること。</u>
  (3) 所属する教育研究分野の○印の選択必修科目から6単位以上修得する
- (4) 11単位を超えた選択必修科目は選択科目に算入される。
- (5) 所属する教育研究分野以外の教育研究分野の〇印科目又は、農学府の 他専攻科目の中から選択科目として、3単位以上を修得すること。
- (6) <u>指導教員と相談した上で、強化科目は4単位を上限として、農学府他</u> <u>専攻、工学府、生物システム応用科学府、他の大学院科目について</u> <u>は、併せて4単位を限度として選択科目の単位数に算入することが</u> できる。
- (7) 農学府共通科目は選択科目とする。

# 自然環境保全学専攻

教育 研究 分野	科目区分	授業科目	単位数
		自然環境保全学 I	⊚2
		自然環境保全学Ⅱ	©1
#	Ļ	自然環境保全学特別講義 I	○0.5
ji F	卦 手	自然環境保全学特別講義Ⅱ	○0.5
į		自然環境保全学特別講義Ⅲ	○0.5
		インターンシップ	1
		基礎統計学	2
		植生管理学特論 I	1
		植生管理学特論Ⅱ	1
		生物多様性保全学特論 I	1
		生物多様性保全学特論Ⅱ	1
		野生動物保全生態学特論 I	1
		野生動物保全生態学特論Ⅱ	1
		野生動物保全政策学特論 I	1
		野生動物保全政策学特論Ⅱ	1
		野生動物救護学 I	1
生		野生動物救護学Ⅱ	1
態系	専門分	健康アメニティ科学特論I	1
保保		健康アメニティ科学特論Ⅱ	1
全学		人間生理生態学特論 I	1
•		人間生理生態学特論Ⅱ	1
森林	野科	森林計画学特論 I	1
環	目	森林計画学特論Ⅱ	1
境 保		森林生態学特論 I	1
全		森林生態学特論Ⅱ	1
学		山地保全学特論 I	1
		山地保全学特論Ⅱ	1
		森林水文学特論 I	1
		森林水文学特論Ⅱ	1
		森林施設工学特論I	1
		森林施設工学特論Ⅱ	1
		景観生態学特論 I	1
		景観生態学特論Ⅱ	1
		森林土壌学特論 I	1
		森林土壌学特論Ⅱ	1
		森林利用システム学特論 I	1
#-	専	森林利用システム学特論Ⅱ	1
生態	門	森林一人間系科学論I	1
系	分野	森林一人間系科学論Ⅱ	1
保 全	科	森林保護学特論I	1
学	目	森林保護学特論Ⅱ	1
• 森		保全遺伝生態学特論	2

## 自然環境保全学専攻

教育 研究 分野	科目区分		授業科目	単位数
	ļ	0	自然環境保全学 I	2
_	⊭l	<u> </u>	自然環境保全学Ⅱ	1
専攻共通科	攵	☆	自然環境保全学特別講義 I	0.5
		☆	自然環境保全学特別講義Ⅱ	0.5
		☆	自然環境保全学特別講義Ⅲ	0.5
F	1		インターンシップ	1
			基礎統計学	2
		<u>O</u>	植生管理学特論 I	1
		<u>O</u>	植生管理学特論Ⅱ	1
		<u>O</u>	生物多様性保全学特論 I	1
		0	生物多様性保全学特論Ⅱ	1
		<u>O</u>	野生動物保全生態学特論 I	1
		0	野生動物保全生態学特論Ⅱ	1
		<u>O</u>	野生動物保全政策学特論 I	1
		<u>O</u>	野生動物保全政策学特論Ⅱ	1
		<u>O</u>	野生動物救護学 I	1
		0	野生動物救護学Ⅱ	1
		0	健康アメニティ科学特論I	1
		0	健康アメニティ科学特論Ⅱ	1
		0	人間生理生態学特論I	1
		0	人間生理生態学特論Ⅱ	1
		<u>O</u>	森林計画学特論 I	1
	専	<u>O</u>	森林計画学特論Ⅱ	1
生態	門	0	森林生態学特論 I	1
系	分野	0	森林生態学特論Ⅱ	1
保 全		0	山地保全学特論 I	1
学		0	山地保全学特論Ⅱ	1
森		0	森林水文学特論 I	1
林		0	森林水文学特論Ⅱ	1
環境		<u>O</u>	森林施設工学特論 I	1
保		<u>O</u>	森林施設工学特論Ⅱ	1
全学		<u>O</u>	景観生態学特論 I	1
		<u>O</u>	景観生態学特論Ⅱ	1
		0	森林土壤学特論 I	1
		<u>O</u>	森林土壤学特論Ⅱ	1
		<u>O</u>	森林利用システム学特論I	1
		<u>O</u>	森林利用システム学特論Ⅱ	1
		<u>O</u>	森林-人間系科学論 I	1
		0	森林一人間系科学論Ⅱ	1
		<u>O</u>	森林保護学特論I	1
		0	森林保護学特論Ⅱ	1
		0	保全遺伝生態学特論	2

1 /1/15			
林		自然環境科学特別研究	4
環境	論	自然環境保全学特別研究	4
保	文研	自然環境科学特別演習	1
全学	究等	自然環境保全学特別演習	1
		自然環境科学外語論文講読演習	1
		自然環境保全学外語論文講読演習	1

## 備考

- (1) <u>共通科目の◎印は必修とする。</u>
- (2) \_ 共通科目の○印のうち1単位以上を修得すること。
- (3) \_ 専門分野科目については10単位以上を修得すること。論文研究等については必修とする。
- (4) 強化科目は、4単位以内とする。

	<u></u>	自然環境科学特別研究	4	
論	<u></u>	自然環境保全学特別研究	4	Ī
文 研	<u></u>	自然環境科学特別演習	1	Ī
究	<u></u>	自然環境保全学特別演習	1	Ī
等	0	自然環境科学外語論文講読演習	1	Ī
	0	自然環境保全学外語論文講読演習	1	Ī

備考

必修科目	選択必修科目	選択科目	修了単位	
<u>15単位</u>	<u>11単位以上</u>	4単位以上	30単位以上	

- (1) <u>◎印の必修科目を15単位修得すること。</u>
- (2) ☆印の選択必修科目から1単位以上修得すること。
- (3) ○印の選択必修科目から10単位以上修得すること。
- (4) 11単位を超えた選択必修科目は選択科目に算入される。
- (5) 無印の科目は選択科目とする。
- (6) 指導教員と相談した上で、強化科目は4単位を上限として、農学府の他専攻、 工学府、生物システム応用科学府、他の大学院科目については、併せて4単位 を限度として選択科目の単位数に算入することができる。
- (7) 農学府共通科目は選択科目とする。

## 農業環境工学専攻

教育 研究 分野	科目区分	授業科目	単位数
		空間情報解析学特論	1
		計測工学特論	1
		実験計画法特論	1
	#	情報処理学特論	1
	- n-C	数值解析学特論	1
		ダイナミクス特論	1
	Ħ	地球統計学特論	1
		熱環境工学特論	1
		農業・農村政策学特論	1
		水環境保全学特論	1
共		農業環境工学特別講義 I	1
通 科		農業環境工学特別講義Ⅱ	1
目		農業環境工学特別講義Ⅲ	1
		農業環境工学特論 I	1
		農業環境工学特論Ⅱ	1
	応	農業環境工学特論Ⅲ	1
	目	農業環境工学特論IV	2
		農業環境工学特論V	2
		農業環境工学特論VI	2
		農業環境工学特論VII	1
		農業環境工学特論VⅢ	1
		農業環境工学特論IX	1
		農業環境工学特論X	2
		カオス農学特論	1
	専門分野科目	自然エネルギー利用学特論	1
		地盤工学特論	1
地		信賴性設計法	1
域		生産制御工学特論	1
環境		精密農業特論	1
I		地域環境解析学特論	1
学 •		地水環境工学特論	1
生		農村地域計画学特論	1
物生		水利用学特論	1
産		農業環境工学特別演習 I	2
工学	論	農業環境工学特別演習Ⅱ	2
,	文研	農業環境工学特別演習Ⅲ	2
	究	農業環境工学特別演習IV	2
	等	農業環境工学特別研究 I	2
		農業環境工学特別研究Ⅱ	2

## 備考

- (1) \_\_ 共通科目は8単位以上を修得すること。なお、強化科目は2単位まで含めることができる。
- (2) 専門科目は10単位以上を修得すること。他専攻の授業科目の中から4単位まで含めることができる。
- (3) <u>論文研究等12単位は必修とする。</u>

## 農業環境工学専攻

	見上子号	. ~ .	
教育 研究 分野	科目区分	授業科目	単位数
		空間情報解析学特論	1
		◇ 計測工学特論	1
		◇ 実験計画法特論	1
	#*	◇ 情報処理学特論	1
	基礎	◇数値解析学特論	1
	科	◇ ダイナミクス特論	1
	目	◇ 地球統計学特論	1
		◇ 熱環境工学特論	1
			1
専		◇ 水環境保全学特論	1
攻		◇ 農業環境工学特別講義 I	1
共通		農業環境工学特別講義 II	1
科			1
目		農業環境工学特論 I	1
		農業環境工学特論Ⅱ	1
	応	農業環境工学特論Ⅲ	1
	用	農業環境工学特論IV	2
	科目	農業環境工学特論V	2
		農業環境工学特論VI	2
		農業環境工学特論VII	1
		農業環境工学特論Ⅷ	1
		農業環境工学特論IX	1
		農業環境工学特論X	2
		○ カオス農学特論	1
		○ 自然エネルギー利用学特論	1
		○ 地盤工学特論	1
1.15	専	○ システム工学特論	1
地域	門 分	<ul><li>○ 生産制御工学特論</li></ul>	1
環	野	○ 精密農業特論	1
境工	科目	○ 地域環境解析学特論	1
学		<ul><li>○ 地水環境工学特論</li></ul>	1
生生		<ul><li>○ 農村地域計画学特論</li></ul>	1
物			1
生産		<ul><li>◎ 農業環境工学特別演習 I</li></ul>	2
工	論	<ul><li>◎ 農業環境工学特別演習 II</li></ul>	2
学	文	<ul><li>◎ 農業環境工学特別演習Ⅲ</li></ul>	2
	研究	<ul><li>◎ 農業環境工学特別演習IV</li></ul>	2
	等	<ul><li>◎ 農業環境工学特別研究 I</li></ul>	2
		<ul><li>◎ 農業環境工学特別研究 II</li></ul>	2
/#: #x.			

<u>必修科目</u>	選択必修科目	選択科目	修了単位
<u>12単位</u>	<u>14単位以上</u>	4単位以上	30単位以上

- (1) <u>◎印の必修科目12単位を修得すること。</u>
- (2) <u>◇印の選択必修科目から8単位以上修得すること。</u>
- (3) ○印の選択必修科目から6単位以上修得すること。
- (4) 14単位を超えた選択必修科目は選択科目に算入される。 (5) 共通科目の無印は選択科目とする。その他、農学府の他専攻科目については、4単位を限度として選択科目の単位数に算入することができる。
- (6) 農学府共通科目は選択科目とする。

## 国際環境農学専攻

教育 研究 分野	科目区分	授業科目	単位数
		地域社会開発総論	2
4	l	国際農業技術論	2
į į	Á	地球環境論	2
乔 F	— 斗 目	異文化コミュニケーション学	2
F	1	国際環境農学特論I	2
		国際環境農学特論Ⅱ	2
	専門	地域環境計画学	2
	分	環境修復保全学	2
国	野科	水利環境保全学	2
際	目	水環境評価学	2
環境		国際環境農学コミュニケーション演習	1
修	論文	国際環境修復保全学特別研究	6
復保	研	国際環境修復保全学演習	4
全	究等	国際環境農学課題別演習	1
学	'1	国際環境農学国内外実習	2
	科専	国際環境修復保全学特論	2
	目中攻	国際環境修復保全学特別演習	2
	専	地域生物機能利用学	2
	野科	地域持続生物生産技術学	2
国		生物資源循環利用学	2
際		生物新機能開発学	2
生物		国際環境農学コミュニケーション演習	1
生	益	国際生物生産資源学特別研究	6
産資	研	国際生物生産資源学演習	4
源	究等	国際環境農学課題別演習	1
学		国際環境農学国内外実習	2
	二 専	国際生物生産資源学特論	2
		国際生物生産資源学特別演習	2
	門分野科	途上地域人口社会学	2
		環境農業協力論	2
		国際地域開発学	2
国		国際開発協力論	2
際地	論文研究等	国際環境農学コミュニケーション演習	1
域		国際地域開発学特別研究	6
開発		国際地域開発学演習	4
学		国際環境農学課題別演習	1
		国際環境農学国内外実習	2
		国際地域開発学特論	2
	目中攻	国際地域開発学特別演習	2
n +-=	##I	日本語コミュニケーションI	6
口个計	語科目	日本語コミュニケーションⅡ	4

- (1) 学生は専修する教育研究分野以外に他の専攻の教育研究分野の中から1分野を副専攻として選択する。
- (2) 共通科目の中から6単位以上修得すること。
- (3) <u>学生が専修する教育研究分野に属する授業科目のうち、専門分野科目については6単位以上修得すること。論文研究等及び副専攻科</u>
- (4) 他の教育研究分野の授業科目及び他の専攻の授業科目の中から2単位以上修得すること。
- (5) 日本語科目は留学生のみが履修することができるものとし、その修得単位数は第3条第2項に規定する単位数に算入しない。

育究野	科目 区分			授業科目	Ē
等		_	Unitable A RETOXANA	(英文名)	+
	専	$\triangle$	地域社会開発総論 国際農業技術論	General Aspect for Regional Development International Comparative Agricultural Technology	+
	攻	$\vdash$	国际展案技術論 地球環境論		+
	攻 共 通	$\triangle$		Global Environment	+
	科	$\Diamond$	異文化コミュニケーション学 国際環境農学特論 I	Intercultural Communication	+
	目	=		Advanced Lecture on International Environmental and Agricultural Science I	+
_	専	△	国際環境農学特論Ⅱ	Advanced Lecture on International Environmental and Agricultural Science II	+
	門	0	地域環境計画学 環境修復保全学	Regional Environmental Conservation Planning	+
	分 野	0	<sup> </sup>	Environmental Rehabilitation and Conservation	+
国 発	科	0		Environmental Water Use & Conservation	+
7. F	E.	0	水環境評価学 国際環境農学コミュニケーション演習	Aquatic Environmental Assessment	+
N 18	論	0		Communication Exercise for International Environmental and Agricultural Research	+
Ē.	文 研	0	国際環境修復保全学特別研究	Research in International Environmental Rehabilitation and Conservation	+
4	究	0	国際環境修復保全学演習	Exercise for International Environment Rehabilitation and Conservation	+
ž.	等	0	国際環境農学課題別演習	Subjective Exercise for International Environmental and Agricultural Research	+
-	FII.	<u>©</u>	国際環境農学国内外実習	Practical Exercise for International Environmental and Agricultural Research	+
	科専	☆	国際環境修復保全学特論	Advanced Lecture for International Environmental Rehabilitation and Conservation	+
4		立	国際環境修復保全学特別演習	Advanced Exercise for International Environmental Rehabilitation and Conservation	+
	専門	0	地域生物機能利用学	Utilization of Regional Biological Functions	+
	分野	0	地域持続生物生産技術学	Regional Sustainable Bio-Production Technology	+
	野 科	<u> </u>	生物資源循環利用学	Sustainable Utilization of Biological Resources	+
	E E	<u> </u>	生物新機能開発学	Improvement of Biological Functions	+
7	論	<u>O</u>	国際環境農学コミュニケーション演習	Communication Exercise for International Environmental and Agricultural Research	+
14 196	文	0	国際生物生産資源学特別研究	Research in International Biological Production and Resource Science	+
ť	研 究	<u>O</u>	国際生物生産資源学演習	Exercise for International Biological Production and Resource Science	4
Ř E	等	0	国際環境農学課題別演習	Subjective Exercise for International Environmental and Agricultural Research	4
۱,		<u></u>	国際環境農学国内外実習	Practical Exercise for International Environmental and Agricultural Research	4
	科専	☆	国際生物生産資源学特論	Advanced Lecture for International Biological Production and Resource Science	4
	旦攻	☆	国際生物生産資源学特別演習	Advanced Exercise for International Biological Production and Resource Science	4
	専 門 分 野 科 目	0	途上地域人口社会学	Population Sociology	_
		0	環境農業協力論	International Cooperation on Sustainable Agriculture	4
		0	国際地域開発政策学	International Rural Development Policy	
国際		0	国際開発協力論	International Development and Cooperation	4
1	論文研究	<u></u>	国際環境農学コミュニケーション演習	Communication Exercise for International Environmental and Agricultural Research	┸
t I		<u></u>	国際地域開発学特別研究	Research in International Development on Rural Areas	_
1		<u></u>	国際地域開発学演習	Exercise for International Development on Rural Areas	┸
1	究 等	<u></u>	国際環境農学課題別演習	Subjective Exercise for International Environmental and Agricultural Research	
L		<u></u>	国際環境農学国内外実習	Practical Exercise for International Environmental and Agricultural Research	┸
	科 専 目 攻	交	国際地域開発学特論	Advanced Lecture for International Development on Rural Areas	
	日攻	交	国際地域開発学特別演習	Advanced Exercise for International Development on Rural Areas	
		0	Regional Environmental Conservation Planning	Regional Environmental Conservation Planning	
		0	Environmental Rehabilitation and Conservation	Environmental Rehabilitation and Conservation	
		0	Environmental Water Use & Conservation	Environmental Water Use & Conservation	Т
		0	Aquatic Environmental Assessment	Aquatic Environmental Assessment	
П	Special Field Studies	0	Utilization of Regional Biological Functions	Utilization of Regional Biological Functions	$\int$
		0	Regional Sustainable Bio-Production Technology	Regional Sustainable Bio-Production Technology	
$\  \ $		0	Sustainable Utilization of Biological Resources	Sustainable Utilization of Biological Resources	⅃
$\  \ $		0	Improvement of Biological Functions	Improvement of Biological Functions	⅃
		0	Population Sociology	Population Sociology	
		0	International Cooperation on Sustainable Agriculture	International Cooperation on Sustainable Agriculture	⅃
		0	International Rural Development Policy	International Rural Development Policy	Ι
		0	International Development and Cooperation	International Development and Cooperation	$oldsymbol{oldsymbol{oldsymbol{oldsymbol{\Box}}}$
		0	Special Lecture for Agricultural DDP I ( )	Special Lecture for Agricultural DDP I ( )	I
		0	Special Lecture for Agricultural DDP II ( )	Special Lecture for Agricultural DDP II ( )	J
		0	Special Lecture for Agricultural DDP III ( )	Special Lecture for Agricultural DDP III ( )	J
Ιſ		<u></u>	Communication Exercise for International Environmental and Agricultural Research	Communication Exercise for International Environmental and Agricultural Research	J
r	Research Subjects for Thesis	0	Research in International Environmental and Agricultural Science	Research in International Environmental and Agricultural Science	Τ
П		0	Exercise for International Environmental and Agricultural Science	Exercise for International Environmental and Agricultural Science	T
		0	Subjective Exercise for International Environmental and Agricultural Research	Subjective Exercise for International Environmental and Agricultural Research	T
		0	Practical Exercise for International Environmental and Agricultural Research	Practical Exercise for International Environmental and Agricultural Research	Ť
ļ	Subcourse	☆	Subcourse Research in International Environmental and Agricultural Science	Subcourse Research in International Environmental and Agricultural Science	Ť
	Lectures	*	Subcourse Exercise for International Environmental and Agricultural Science	Subcourse Exercise for International Environmental and Agricultural Science	Ť
-		ΙĪ	日本語コミュニケーション I	Japanese Communication I	Ť
	日本語科目	-		<del> </del>	+

带考	必修科目	選択必修科目	選択科目	修了単位
	18単位	12単位い ト	2単位 IV F	32単位い上

- | 10 字田 | 12年10以上 | 2年10以上 | 32年10以上 | 32年1

11

## 学府共通科目

科目区分	授業科目	単位数
	農学府特別講義 I ( )	0.5
_	農学府特別講義Ⅱ ( )	1
学 府	農学府特別講義Ⅲ ( )	2
共	海外特別演習 I	0. 5
通 科	海外特別演習Ⅱ	0. 5
目	海外特別実習 I	0. 5
	海外特別実習Ⅱ	0. 5
	Arts of Intercultural Communication	2

## 農学府共通科目

科目区分	授業科目	単位数
	農学府特別講義I())	0.5
曲	農学府特別講義Ⅱ ( )	1
農学	農学府特別講義Ⅲ( )	2
府共	海外特別演習 I	0.5
通	海外特別演習Ⅱ	0.5
科目	海外特別実習 I	0.5
	海外特別実習Ⅱ	0.5
	Arts of Intercultural Communication	2

### 備考

(1) 専攻により、修了要件に算入することができる。